***Limnology* (201X) XX: XX-XX　速報　原著論文　アジア／オセアニアレポート**

**Distribution of dissolved acidic polysaccharides (dAPS) during cyanobacteria blooms in northern Lake Taihu**

太湖北部での藍藻ブルームにおける溶存酸性多糖(dAPS)の分布

Lizhen Liu・Boqiang Qin・Guangwei Zhu・Yunlin Zhang・Guang Gao・Zhijun

Gong・Qi Huang

中国太湖の梅梁湾の河口から内湾，外湾，湖中央までの４つの水域で，2012年6月～10月にかけてミクロキスティスの増殖期に湖水中の溶存酸性多糖(dAPS)の濃度を調査した。dAPS濃度は沿岸から沖合にかけて減少傾向にあった。梅梁湾に沿ったdAPSは1.25～15.73 mg キサンタンガム当量(Xeq/L)で平均5.76 mg Xeq L-1であった。dAPSの高い濃度は河口において5.44±2.32 mg Xeq L-1であった。クロロフィルａ濃度は，湾全体（河口，内湾，外湾を含む）でdAPS濃度と正の相関があり(*p*<0.05)，藻類が水中dAPSの主な起源である。5日間の生物酸素要求量(BOD5)は，dAPSと負の関係にあり，そのメカニズムについてさらに検討が必要である。平均してdAPSは，湾全体で溶存有機炭素(DOC)の42.2±20.3%を占め，湖中央では35.2±14.6%に相当していた。豊富なdAPSは，それらが湖の有機物において重要な貯蔵源となっていて，その時期の水中の生態系へ影響があると思われる。

**キーワード：**溶存酸性多糖，溶存有機炭素，梅梁湾，太湖